

2019年10月8日

株式会社奥村組

北海道石狩市におけるバイオマス発電所建設工事の安全祈願祭・起工式を執り行いました

株式会社奥村組（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：奥村太加典）が100%出資する石狩新港新エネルギー発電合同会社（以下、同社。本社：北海道札幌市、社長：原田 治）は、同社が開発を進める「石狩バイオマス発電事業」（以下、本事業）において、石狩湾新港工業団地内（北海道石狩市・小樽市）に建設を予定するバイオマス発電所の建設工事着手にあたり、2019年10月7日、石狩八幡神社（石狩市弁天町1）にて、安全祈願祭・起工式を執り行いました。

式典には同社社長をはじめ、プロジェクト関係者や工事関係者等、19名が出席し、工事の無事を祈願しました。

本事業に向けた準備は順調に進捗しており、当該発電所を当初の予定より2カ月前倒しした、2022年8月から運転開始することを目指しています。

当社グループは、環境負荷が低いバイオマス発電を通じ、低炭素社会の実現に貢献するとともに、新たな雇用の創出や地域産業の活性化などにも貢献してまいります。

【本事業の概要】

事業主体	石狩新港新エネルギー発電合同会社
代表者（社長）	原田 治
本店所在地	札幌市中央区北三条西3丁目1番地 札幌北3条ビル8階801A
資本金	5,000千円（株式会社奥村組100%出資）
事業内容	発電、電気の供給に関する事業（木質バイオマス発電）
発電所 所在地	石狩市新港中央2丁目763番地内
使用燃料	木質ペレット、PKS（パーム椰子核殻） 合計年間約22万トン（主に東南アジアからの輸入を予定）
主要設備	循環流動層ボイラー（CFB）、蒸気タービン発電機
発電出力	51,500kW（送電45,000kW）
想定年間発電量	3.6億kWh（一般家庭約12.1万世帯分の年間使用電力量に相当）
運転開始	2022年8月（予定）
発電所 施工業者	東洋エンジニアリング株式会社

本事業はFIT認定を受けており、発電した電力は、全量を北海道電力に売電し、運転開始後20年間は、固定価格（売電単価24円/kWh）での買取りが約束されています。

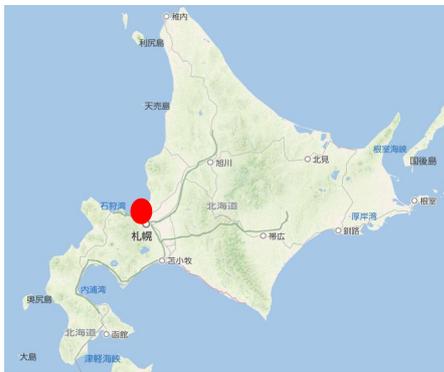
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社奥村組 投資開発事業本部
新事業開発部長 福知 克美
〒108-8381 東京都港区芝 5-6-1
TEL 03-6628-8796(直) FAX 03-5427-8330
E-mail katumi.fukuti@okumuragumi.jp

【式典当日の様子】



【本事業の場所】



【発電所 完成予想図】

